

# 多 度 津 町 経 済 動 向 調 査

## 《第2四半期(2021年7-9月) 調査結果》

1. 調査期間 令和3年9月3日～15日

2. 調査対象 会員37企業に調査票配布(回収企業26 回収率70.2%)

	製造	建設	卸・小売	サービス
調査対象	12	8	10	7
有効回答	8	5	8	5

3. 調査項目 今期(2021.7~9月)を基準に前年同期比、来期予測を今期比にて業況・売上高・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの項目について調査

※DI指数は、景況判断状況を表すもので増加・好転などの回答割合から減少、悪化などの回答割合を差し引きし、ゼロを基準としてプラス値で景気の上向き、マイナス値で景気の下向きを表す。

(仕入単価は下落-上昇、販売単価は上昇-下落、従業員は、不足-過剰の割合を差し引いて判断)

※調査項目の販売単価について2019年第1四半期調査より追加。

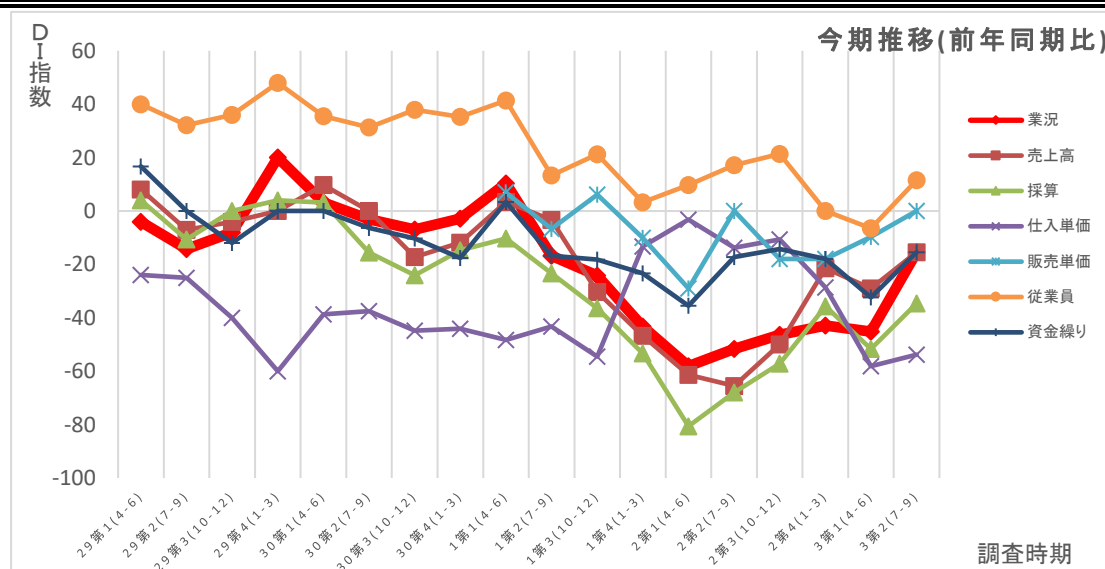
※業種分類を卸売、小売業を2020年第2四半期調査より統合。

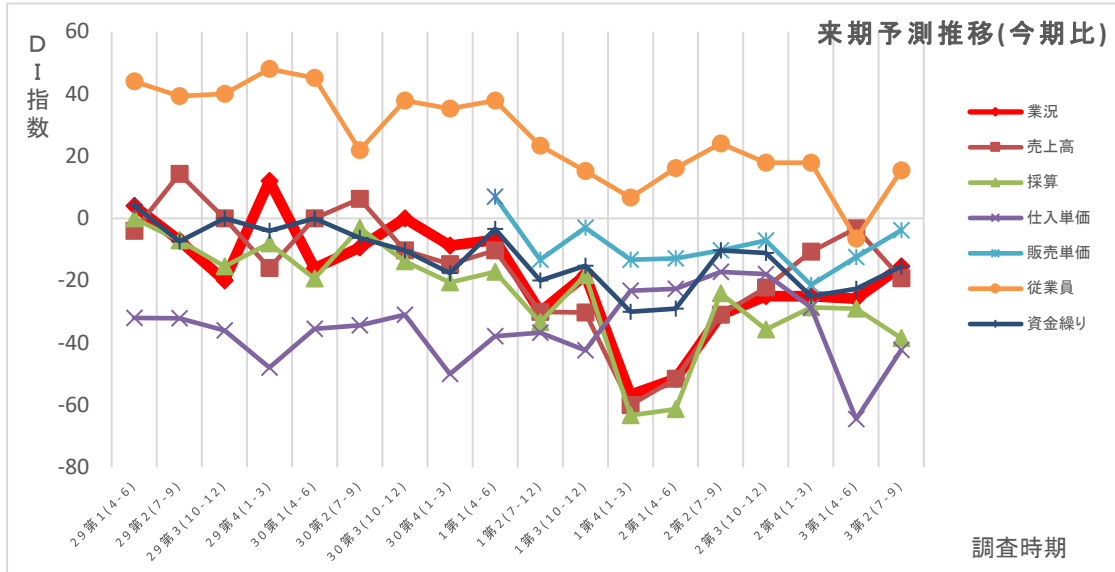
### 4. 全産業(DI指数分析)

**業況は、コロナワクチン接種が進展したことから大幅な改善  
先行きは、不透明ながらコロナ感染縮小にともない改善を見込む**

業況DI▲15.4(前期比+29.7ポイント)、売上高DI▲15.4(前期比+13.7ポイント)、採算DI▲34.6(前期比+17.0ポイント)、仕入単価DI▲53.8(前期比+4.3ポイント)、販売単価DI0(前期比+9.7ポイント)、従業員DI11.5(前期比+18.0ポイント)、資金繰りDI▲15.4(前期比+16.8ポイント)。

先行きの見通し(来期予測)の業況DI▲15.4(今期比+0ポイント)。売上高DI▲19.2(今期比-3.8ポイント)、採算DI▲38.5(今期比-3.8ポイント)、仕入単価DI▲42.3(今期比+11.5ポイント)、販売単価DI▲3.8(今期比-3.8ポイント)、従業員DI15.4(今期比+3.8ポイント)、資金繰りDI▲15.4(今期比+0ポイント)の結果となった。



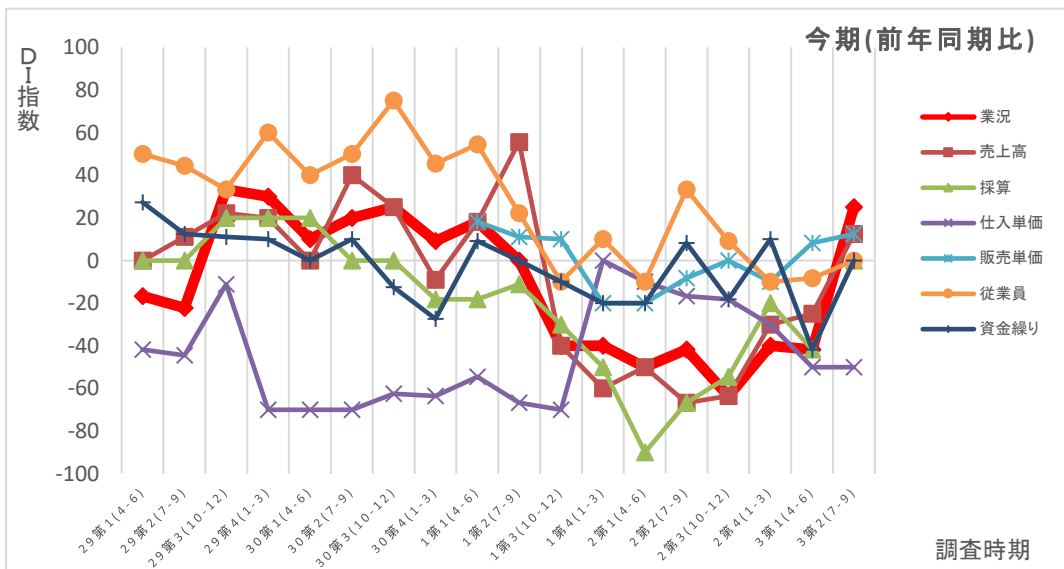


### 5. 業種別 (DI指数分析:前期比)

**製造業↑** 業況DI25.0(前期比+66.6<sup>°</sup> イト)。

売上高DI12.5(前期比+37.6<sup>°</sup> イト)、採算DI0(前期比+41.7<sup>°</sup> イト)、仕入単価DI▲50.0(前期比+-0<sup>°</sup> イト)、販売単価DI12.5(前期比+4.1<sup>°</sup> イト)、従業員DI0(前期比+8.3<sup>°</sup> イト)、資金繰りDI0(前期比+41.6<sup>°</sup> イト)。

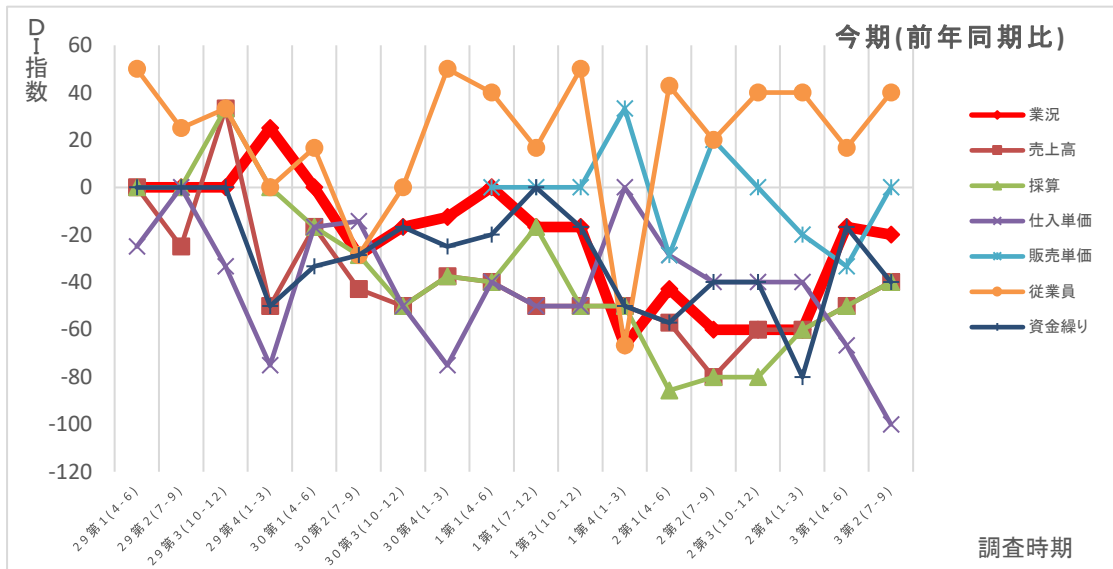
先行き(来期)見通し、業況DI▲25.0(今期比+-0<sup>°</sup> イト)横ばいを見込。



**建設業↓ 業況DI▲20.0(前期比-3.3ポイント)。**

売上高DI▲40.0(前期比+10.0ポイント)、採算DI▲40.0(前期比+10.0ポイント)、仕入単価DI▲100(前期比-33.3ポイント)、販売単価DI0(前期比+33.3ポイント)、従業員DI40.0(前期比+23.3ポイント)、資金繰りDI▲40.0(前期比-23.3ポイント)。

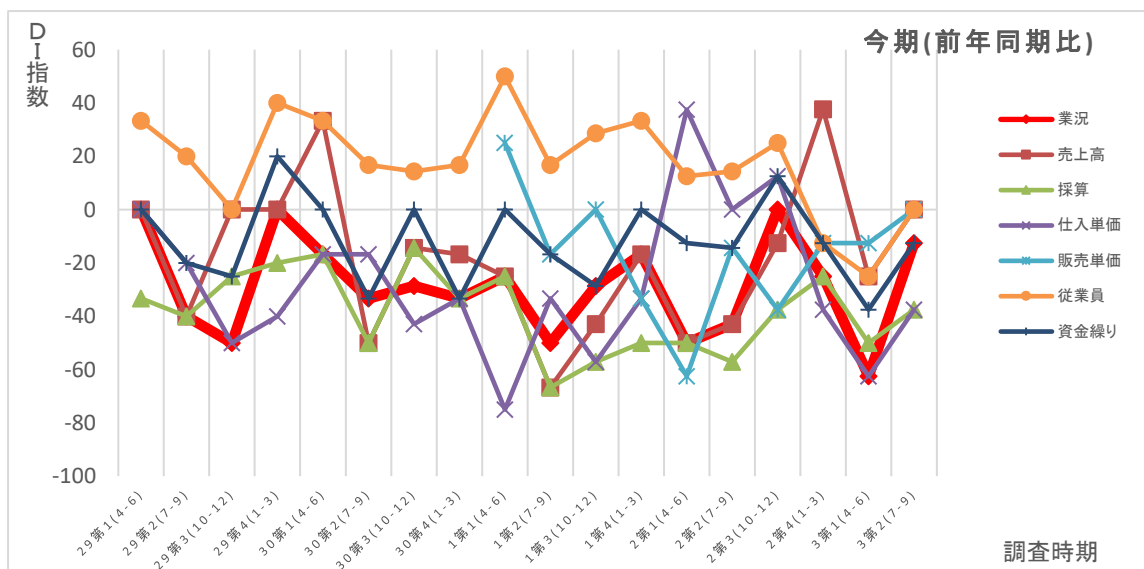
先行き(来期)見通し、業況はDI▲20.0(今期比+0.0ポイント)横ばいの見込。



**卸・小売業↑ 業況DI▲12.5(前期比+50.0ポイント)。**

売上高DI0(前期比+25.0ポイント)、採算DI▲37.5(前期比+25.0ポイント)、仕入単価DI▲37.5(前期比+25.0ポイント)、販売単価DI37.5(前期比+12.5ポイント)、従業員DI0(前期比+25.0ポイント)、資金繰りDI▲25.0(前期比-5.0ポイント)。

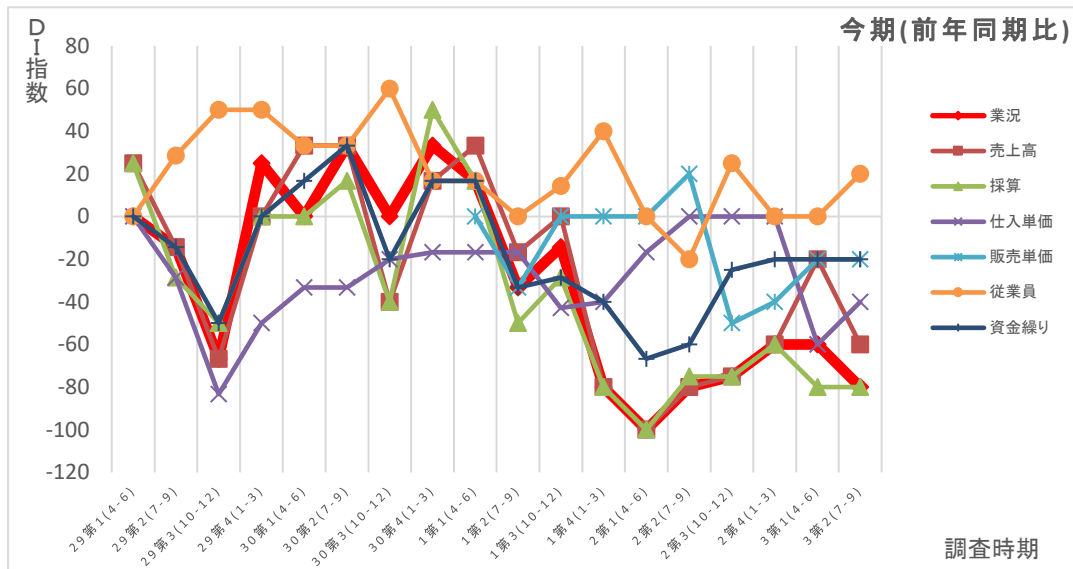
先行き(来期)見通し、業況DI▲12.5(今期比+25.0ポイント)と改善を見込。



**サービス業↓ 業況DI▲80.0(前期比+20.0ポイント)。**

売上高DI▲60.0(前期比-40.0ポイント)、採算DI▲80.0(前期比+0ポイント)、仕入単価DI▲40.0(前期比+20.0ポイント)、販売単価DI▲20.0(前期比+0ポイント)、従業員DI20.0(前期比+20.0ポイント)、資金繰りDI▲20.0(前期比+0ポイント)。

先行き(来期)見通し、業況DI▲60.0(今期比+20.0ポイント)改善を見込。



**【業況感等コメント】**

- 一般市況は、回復が見られるものの設備投資に弱含み感を覚え、機械設備に向けては全体的な景気の底上げがまたれる **(製造業)**
- 材料、機器コスト上昇が大きく受注隅の案件への価格転嫁できない分、採算性が低下する。 **(製造業)**
- 新型コロナに伴うウッドショックの影響により原材料の入手が非常に困難になっており、大幅なコストアップになっている。販売についても営業活動が制限され厳しい状況である。 **(製造業)**